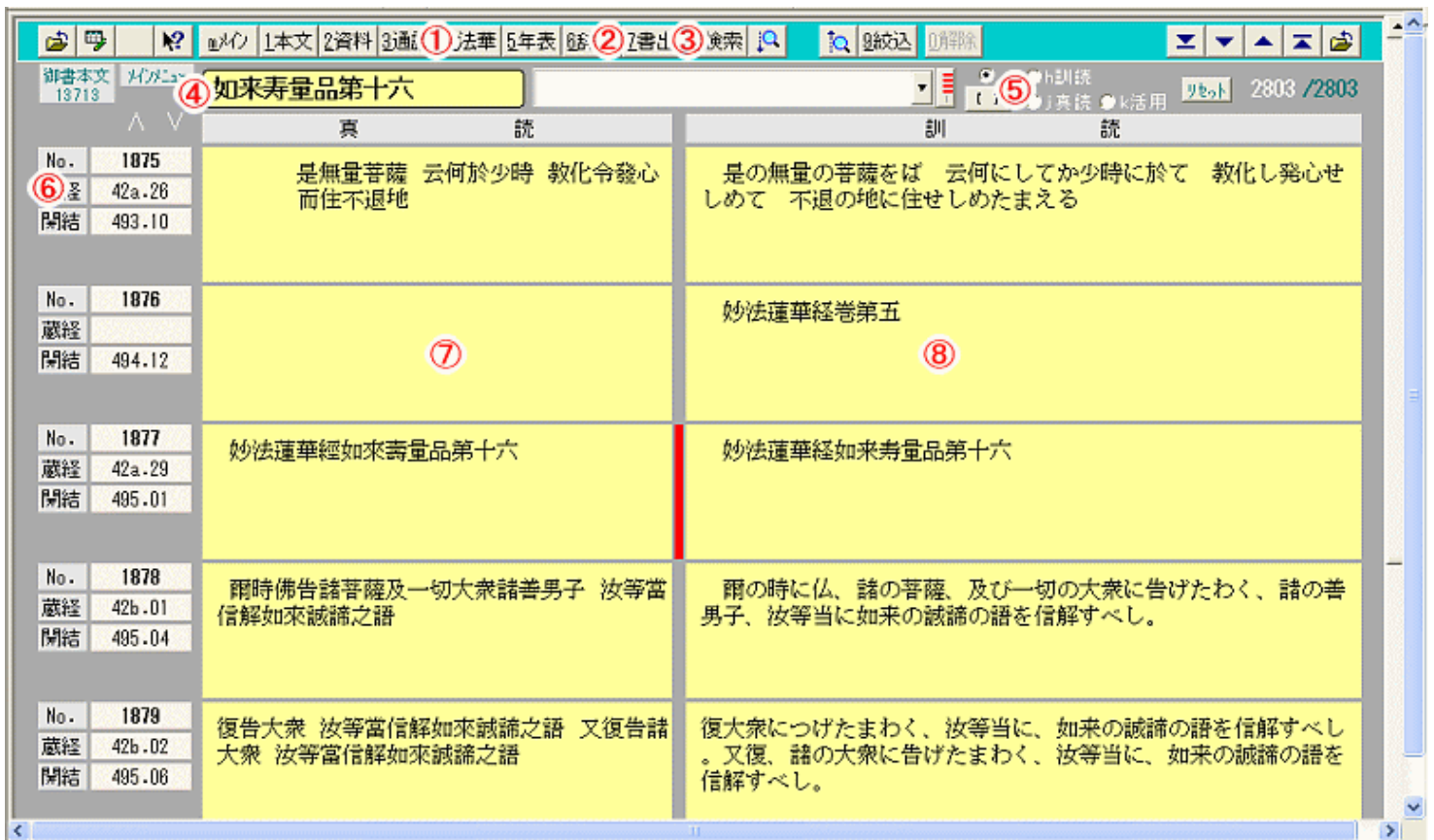


◆法華経フォームの構成と使い方

[◀画面の紹介に戻る](#)



法華経フォーム画面

各部の構成	
① 「法華経画面切り替え」ボタン	② 「書き出し」ボタン
③ 「検索」ボタン	④ 品名欄
⑤ 検索・絞込条件選択トグルボタン	⑥ 法華経対照欄
⑦ 真読欄	⑧ 訓読欄

法華経フォーム画面は、経文の検索や絞り込みに便利なように工夫されています。

《法華経フォーム画面専用機能》

- ① **法華** (法華経画面切り替え) ボタン……法華経本文画面と法華経通読画面を切り替えます。
- ② **書出** (書き出し) ボタン……法華経全部もしくは品単位で書き出しができます。
- ③ **検索** (検索) ボタン……入力枠に何も入力しないで **検索** をクリックすると品名一覧が表示され、各品に移動できます。

妙法蓮華經品第目次	
無量壽經傳行品第一	
無量壽經說法品第二	
無量壽經十功德品第三	
序品第一	從地涌出品第十五
方便品第二	如來壽量品第十六
譬喻品第三	分別功德品第十七
信解品第四	隨喜功德品第十八
藥師品第五	法師功德品第十九
授記品第六	常不輕菩薩品第二十
化城喻品第七	如來神力品第二十一
五百弟子授記品第八	囉栗品第二十二
授學無學人記品第九	藥王菩薩本事品第二十三
法師品第十	妙音菩薩品第二十四
見寶塔品第十一	觀世音菩薩普門品第二十五
提婆達多品第十二	陀羅尼品第二十六
勸持品第十三	妙莊嚴王本事品第二十七
安樂行品第十四	普賢菩薩勸發品第二十八
	觀音聲菩薩行法經

④品名欄……現在表示されている法華經の品名を表示します。

如来寿量品第十六

⑤検索・絞込条件選択トグルボタン……訓読・真読・活用から選択して検索・絞込ができます。



⑥法華經対照欄……現在表示行の通し番号([法華No.])、および大正蔵經・大石寺版(訓読)の頁・段・行数を表示します。

No.	1875
蔵經	42a.26
開結	493.10

[法華No.]は、このシステムにおける法華經三部經の通し番号です。フォーム画面にはただ[No.]と記してあります。約2800行に分割してあります。

⑦真読欄……大正新修大蔵經第9冊所収の「妙法蓮華經」を表示します。

真	読
爾時佛告諸菩薩及一切大衆諸善男子 汝等當信解如來誠諦之語	

⑧訓読欄……大石寺蔵版「妙法蓮華經並開結」を表示します。

訓	読
爾の時に仏、諸の菩薩、及び一切の大衆に告げたわく、諸の善男子、汝等當に如來の誠諦の語を信解すべし。	

《法華經フォーム画面への移動》

法華經フォーム画面への移動は、メインメニューの **4.法華經**、または **4法華** のある各フォーム画面上から、それらをクリックして移動します。

《法華經の真読・訓読データ》

法華經三部經の真訓両読を対照にしてデータ化してあります。真読([蔵經真読])は大正大蔵經に依り、訓読([開

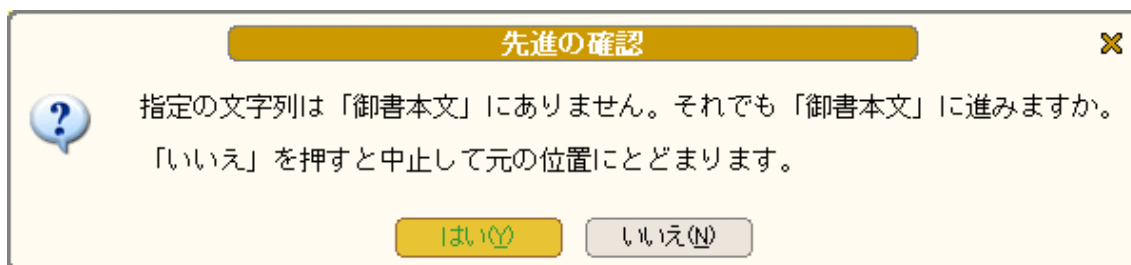
結訓読])は大石寺版開結の真読を改めて訓読したものです(「[⑦真読欄](#)」・「[⑧訓読欄](#)」参照)。このほかに表示されてはませんが、検索・絞り込みの作業をし易くするために、真読の正字体を常用字体に改めた活用([真読活用])があります。(但し異体字までは対応していない) 平均文字数は真読約33字、訓読約60字です。

《法華経通読とのリンク》

真読・訓読の本文をドラッグして [4法華](#) をクリックすると、「法華通読」フォーム画面のそれぞれ該当する真読・訓読の箇所リンクします。【】印を付けるようにしておけば一目瞭然です。(ドラッグしないでただ [4法華](#) をクリックすると、この行の本文を含む頁に進みます。)

《御書本文・御書通読とのリンク》

同様に真読・訓読の本文をドラッグして [1本文](#) [3通読](#) をクリックすると、御書にその経文が引かれている場合は、その引用されている[システム版御書]の箇所リンクします。引用されてない場合は、引用されてなくても御書に進むか(この場合の御書の位置は直前に作業をした位置)、現法華経に止まるかを尋ねてきます。



引用されていない場合は、確認のダイアログが出る

※上記のリンク処理は、ドラッグした文字列に含まれる漢字一字一字を and 条件で御書本文を対象に検索します。ドラッグした文字数が少なかった場合には不適切な御書本文が検索される場合があります。予めご了承ください。(【】印を付けるようにしておくとも一目瞭然です。)

《法華経フォーム画面での検索・絞込》

法華経フォーム画面での検索・絞込の詳細は、

[「主な機能別使い方\(調べる\)」](#)→[「F、法華経の一文を探し出す」](#)

をご覧ください。

《法華経フォーム画面での書き出し》

法華経全部もしくは品単位で書き出しができます。法華経フォーム画面での、書き出しの詳細は、

[「主な機能別使い方\(書き出す\)」](#)→[「C、法華経の書き出し」](#)

をご覧ください。

[▲このページの先頭に戻る](#)